

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
【発行日】令和 4 年 1 月 6 日 (2022.1.6)

【公開番号】特開 2021-59153 (P2021-59153A)  
【公開日】令和 3 年 4 月 15 日 (2021.4.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-018  
【出願番号】特願 2019-183215 (P2019-183215)  
【国際特許分類】

**B 6 0 H 1/00 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 H 1/00 1 0 2 P

B 6 0 H 1/00 1 0 2 H

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 26 日 (2021.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

空気が通過する空気通路 (22) を開閉する通路開閉装置であって、  
前記空気通路の開口部 (22a) を形成する開口縁部 (23) が内部に設けられたケース (12) と、

前記ケースの内部にスライド移動可能に配置されて前記開口部を開閉するスライドドア (50) と、を備え、

前記スライドドアは、前記スライドドアのドア移動方向の一方側の端部を構成するとともに、前記スライドドアが前記開口部を閉鎖する閉鎖位置に変位すると前記開口縁部に対向するドア端部 (52A) を含み、

前記開口縁部は、前記スライドドアが前記閉鎖位置に変位した際に前記ドア端部に対向するとともに前記ドア端部との間に前記ドア移動方向に沿って延びる隙間流路 (G) を形成するドア対向壁部 (126) を含み、

前記ドア端部および前記ドア対向壁部は、前記隙間流路が先細り流路となるように、前記スライドドアが前記閉鎖位置に変位した状態における前記ドア端部と前記ドア対向壁部との間隔が空気流れ下流側に向かって小さくなっている、通路開閉装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

空気が通過する空気通路 (22) を開閉する通路開閉装置であって、

空気通路の開口部 (22a) を形成する開口縁部 (23) が内部に設けられたケース (12) と、

ケースの内部にスライド移動可能に配置されて開口部を開閉するスライドドア (50) と、を備え、

スライドドアは、スライドドアのドア移動方向の一方側の端部を構成するとともに、スライドドアが開口部を閉鎖する閉鎖位置に変位すると開口縁部に対向するドア端部 (52A) を含み、

開口縁部は、スライドドアが閉鎖位置に変位した際にドア端部に対向するとともにドア端部との間にドア移動方向に沿って延びる隙間流路（G）を形成するドア対向壁部（126）を含み、

ドア端部およびドア対向壁部は、隙間流路が先細り流路となるように、スライドドアが閉鎖位置に変位した状態におけるドア端部とドア対向壁部との間隔が空気流れ下流側に向かって小さくなっている。